

# 栄養プロフィール

## クック諸島

2019年12月20日更新

## 栄養分野国家政策/計画（その1）

# 栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
Cook Islands National Strategy and Action Plan for Non-communicable diseases 2015- 2019	非感染性疾患に対する国家戦略・行動計画 2015 - 2019	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年まで、非感染性疾患の罹患率を毎年2%ずつ減少させることを目標とする。</li> <li>そのために ①輸入食品の依存度の減少と、地場の栄養価の高い食品へのアクセス、入手可能性及び消費の増加、②1日あたり5給仕以上の野菜を食べる成人（18歳以上）の割合を30%に増加、③過体重と肥満のこどもの割合を10%減少、④過体重および肥満の成人の割合を10%減少、⑤塩分摂取量を、推奨される毎日の基準である1日あたり5グラム未満（ナトリウム200mg）へ減少を目指す。</li> <li>主な戦略としては、健康な食品に関する意識と知識の向上、ソーシャルマーケティング、家庭における食の安全の向上、地域における健康な食事の調理・消費に関する研修の実施、職場における健康的な食事の促進、減塩対策の企画と実施がある。</li> </ul>
Cook Islands National Health Strategic Plan 2017-2021 (NHSP)	国家保健戦略 2017- 2021	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保健行政・管理、②コミュニティヘルスサービス、③病院の保健サービス④アライド・ヘルスサービス⑤離島（パ・エヌア）保健サービス⑥パートナーシップ強化の6分野で戦略を作成。</li> <li>栄養に関しては、学校においてのこどもの肥満予防、「赤ちゃんに優しい病院イニシアティブ」の促進、家庭/学校菜園や健康的な食事の調理を通じた家庭の食の安全と栄養の促進、栄養摂取状況のプロファイルの作成、生後6か月までの完全母乳育児、児童の過体重・肥満の割合を25%に抑える、野菜摂取の奨励、病院食の改善等。</li> </ul>

## 栄養分野国家政策/計画（その2）

タイトル	位置付け	要旨
<p>Public Health Act 2004 Public Health (Sewage and Wastewater Treatment and Disposal Regulation) 2014</p>	<p>公衆衛生法 2004 公衆衛生法（下水及び廃水処理）規制法 2014</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2004年のActは修正が提案されている。（NHSP2017-2021）</li> <li>• 2014年の下水・廃水処理規制法については下水・廃水処理施設のデザイン及び建設の基準や、処理方法、運営管理、検査やレポートシステムについて規定されている。</li> </ul>
<p>Food Act 1992 Food Amendment Act 2005 Food (Fish Export Processing) regulations 2006 Food Regulation 2014</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 免許、衛生管理、食肉処理法、海産物をはじめとする食品の輸出と消費、ラベル、食品基準費などの規定のほか、母乳代替品やノンアルコール飲料、乳幼児用の食品のマーケティングに係る規定が設けられている。</li> <li>• 2014年には、砂糖入り飲料（SSB）に対する消費税が課税された</li> </ul>

## 栄養関連分野国家政策/計画

# 栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
School health and nutrition Healthy Food Policy 2006	学校保健と栄養・食品政策	小児期の過体重・肥満を軽減または防止を目的とする。具体的には健康な食事とライフスタイルの習慣の育成、食育、健康的な食事と生活習慣に関する知識の向上を行う。学校における栄養プログラムでは、スタッフのトレーニングの他、学校における飲食物の基準・規則の制定、衛生的な調理施設、食事環境の整備、カリキュラムに含まれる栄養教育など
Sanitation (Wastewater Management) Policy 2016	衛生（廃水処理）政策 2016	廃水処理についてのフレームワークを設定。公衆衛生面だけでなく、特に観光業が主要産業であるクック諸島では経済活動においても重要であるという位置づけ。政府、コミュニティー個人の責任を明確にした統合的アプローチを取り、廃水が公衆衛生及び環境、現地の事情に適した方法で処理されることを目標とする。
Food and Agriculture Sector Master Plan 2030 Codex Alimentarius		Food security initiatives to mitigate for disaster and climate change..

## 基本データ： 一般概況

# 一般概況

指標	数値	項目	概要
人口	約15,200人 (2018年、太平洋共同体事務局)	面積 <sup>1)</sup>	約237km <sup>2</sup> (鹿児島県徳之島とほぼ同じ) 15の島々より成る。
人口密度	64人/km <sup>2</sup> (2018年、太平洋共同体事務局)	気候 <sup>2)</sup>	高温多湿の熱帯海洋性気候
人口増加率	0.2% (2018年、太平洋共同体事務局)	地形 <sup>2)</sup>	サンゴ礁に囲まれた7つの火山島と8つの環礁で構成される。
合計特殊出生率	2.7人 (2009-13年、大洋州共同体事務局)	民族構成 <sup>1)</sup>	ポリネシア系 (クック諸島マオリ族) 81%, 混血ポリネシア系15.4%
平均寿命	男性71.7歳、女性79.6歳 (2009-13年、大洋州共同体事務局)	言語 <sup>1)</sup>	クック諸島マオリ語, 英語 (共に公用語)
5歳未満児死亡率	7.6対出生1,000 (2017年、UNICEF)	宗教 <sup>1)</sup>	キリスト教97.8%
1歳未満死亡率	6.0対出生1,000 (2017年、UNICEF)	一人当たりGDP	20,354米ドル (2017年, 豪DFAT)
人間開発指数 (HDI)	N/A	主要産業 <sup>1)</sup>	観光業、農業、漁業 (黒真珠養殖)、金融サービス、ニュージーランドへ移民もしくは出稼ぎに行く者が多い。
Doing Business ランキング	N/A	略史 <sup>1)</sup>	1965年内政自治権を獲得し、ニュージーランドとの自由連合に移行。

1) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

2) <http://atlas.cdx.jp/index.htm>

## 基本データ： 栄養状態（微量栄養素欠乏含む）

# 栄養状況・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
女性の低体重	0% <sup>1)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の低体重は問題となっていない模様。</li> </ul>	NLI Country Profile/WHO
成長期の女子（15-19歳）の低体重	No data		
12-16歳の低体重（2010年） 12-16歳の過体重（2010年） 12-16歳の肥満（2010年） 学童・青少年(5-19歳)過体重(2016年)	0.3% 女子：0.4% 男子：0.3% <sup>2)</sup> 59.1% 女子：60% 男子：58.3% <sup>2)</sup> 27.8% 女子：23.9% 男子：31.1% <sup>2)</sup> 63% 女子：36.5% 男子：24.4% <sup>1)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の半分以上が過体重であり、3人に1人が肥満である。</li> </ul>	<sup>1)</sup> NLI Country Profile/WHO <sup>2)</sup> GSHS Report 2010 /MOH
大人の過体重（2016年） 大人の肥満（2016年）	女性：85.8% 男性：83.7% 女性：59.2% 男性：52.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>クック諸島では非感染性疾患による死亡率の高さが問題となっているが、大人の大多数が過体重、半数以上が肥満であり、大きなリスク要因であると言える。</li> </ul>	Monitoring UHC and Health in SDGs baseline support for the Western Pacific Region 2017 /WHO
大人の糖尿病の割合 高血圧の割合（2003-2004年） 塩分摂取量	21.8%（男性17.5%、女性34.2%） <sup>1)</sup> 33.2% <sup>2)</sup> No data	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人の5人に1人が糖尿病、3人に1人が高血圧で、非感染性疾患のリスクを孕んでいる。</li> </ul>	<sup>1)</sup> National Health Information Bulletin 2016 <sup>2)</sup> FAO Food and nutrition Security Profile
女性の過体重/肥満（2016年） 全国 過体重/肥満 都市部/農村部	83.7% 31.1% / 52.6% No Data	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の大部分が栄養過多の状態、特に肥満が2人のうち1人ととても多い。</li> </ul>	NLISS Country Profile/WHO
女性の微量栄養素欠乏 亜鉛欠乏（19歳以上）	No data		
貧血（2011年） 鉄欠乏 葉酸欠乏 ビタミンA欠乏 ヨード欠乏（女性）	妊婦：55% 妊婦以外：18% <sup>1)</sup> No data No data No data No data	<ul style="list-style-type: none"> <li>半分以上の妊婦が貧血である</li> </ul>	FAO Food and Nutrition Security Profile

## 基本データ： 栄養・食物摂取行動

# 栄養状況 ・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
こども <sup>注3</sup> の過体重/肥満	No data		FAO Food and Nutrition Security Profiles
こども <sup>注3</sup> の低栄養 発育阻害（慢性栄養不良） 消耗症（急性栄養不良）	No data No data		
こども <sup>注3</sup> の微量栄養素欠乏 ヨード欠乏（学齢期児童）	No data		
貧血（2011年） 亜鉛欠乏	25% <sup>1)</sup> No data	<ul style="list-style-type: none"> <li>4人に一人は貧血である。</li> </ul>	
鉄欠乏 ビタミンA欠乏（未就学児：6ヶ月-5歳児）	No data 24.6% <sup>1)</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビタミンA欠乏は4人に1人で予防可能な小児失明と感染による死亡リスクとなっている。</li> </ul>	
生後6カ月の完全母乳育児率（2005-2009 年平均）	19%	<ul style="list-style-type: none"> <li>5人に1人の母親が完全母乳育児を行っている。</li> </ul>	
最低食事水準を満たすこどもの割合：	No data		
鉄分豊富な食材を食べたこどもの割合：	No data		
ビタミンA豊富な食材を食べたこどもの割合：	No data		
ヨード添加塩（少しでもヨードを添加している塩） を使用している世帯の割合： 全国（2007年） 都市部 農村部	79.0% No data No data	<ul style="list-style-type: none"> <li>2007年時点でのヨード添加塩を利用している世帯の割合は高いと言える。</li> </ul>	NLiSS Country Profile/WHO

## 基本データ： 食物消費・食料安全保障

# 食料安全保障状況 ・課題

指標	数値	解説	調査名/出典
世界飢餓指数 (Global Hanger Index : GHI)	No data		
世界食料安全保障指数 (Global Food Security Index : GFSI)	No data		
1人1日あたりの食事からのエネルギー摂取量	No data		
炭水化物以外からの摂取エネルギーの割合	No data		
食事エネルギー供給量充足度	No data		
たんぱく質摂取量中の動物性たんぱく源の割合	No data		
12-16歳で過去30日間で果物を大抵1日に2,3回摂取した人の割合 (2010年)	56.2% 女子：57.9% 男子：54.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な摂取果物はポポー、バナナ、パッションフルーツ、グアバ、スイカ、スターフルーツ、パイナップル、ココナッツ等</li> <li>大きな男女差はない。</li> </ul>	GSHS 2010/ MOH
12-16歳で過去30日間で野菜を大抵1日に3回以上摂取した人の割合 (2010年)	31.9% 女子：32.6% 男子：31.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な摂取野菜はサトイモの葉、キャベツ、キュウリ、レタス、トロロアオイ (belepota viti)、トマト、ホウレンソウ、クレソンなど。</li> <li>大きな男女差はない。</li> </ul>	
12-16歳で過去30日間でソフトドリンクを毎日1回以上摂取した人の割合 (2010年)	60.2% 女子：62.3% 男子：58%	<ul style="list-style-type: none"> <li>半数以上がスプライト、コーラ、レモネード、ファンタなどのソフトドリンクを毎日摂取している。</li> <li>大きな男女差はない...</li> </ul>	
12-16歳で過去7日間に3日以上ファストフードを食べた人の割合(2010年)	19.6% 女子：20.9% 男子：18.5%		



## 基本データ： 関連セクターの状況（教育、水衛生）等

# 栄養を取り巻く状況・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
安全な水へのアクセス (2015年)	99.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な水・衛生設備へのアクセス率は高く、野外排泄もほぼないと言え、水衛生面からの人口の栄養状態へのリスク要因にはなっていないと考えられる。</li> </ul>	NLIS/ WHO
安全な衛生設備(トイレ)へのアクセス(2015年)	97.6%		FAO Food and nutrition Security Profiles
野外排泄(2012年)	1%(都市部1%, 農村部0%)		
基本的な手洗い設備 <sup>注3</sup>	13-15歳の学生の 排泄後の手洗い 4%		UNICEF Situation analysis of children regional 2017
小学校純就学率(2016年)	94.7%(女子94.32%, 男子95.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校純就学率水準は2013年の89%より徐々に増加、2016年の全体就学率は96%(性別のデータはなし)。就学率に男女差はほぼ見られない。</li> </ul>	UNESCO Institute of Statistics
中学校純就学率(2015年)	89.9%(女子89.9%, 男子89.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2013年の79/4%より10%増加。就学率に男女差も見られない。ただし、離島における教育へのアクセスが悪いため、就学率が低い。</li> </ul>	
識字率(2009年) 15歳以上	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>クック諸島において、識字率と栄養状態に相関関係はないと言える。</li> </ul>	WPRO Country Profile

\*安全な水=改善された水源（配管給水、深井戸、保護された浅井戸・湧水、雨水等）からの水で、敷地内で入手可能な場合 (safely managed) と水汲みに要する時間が30分以内の場合 (basic) を含む。

\*安全な衛生設備=改善された衛生設備（排泄物を衛生的に処理し、人間に接触することを防ぐトイレ設備）が、他の世帯と共有せず使用されている場合。

注3：自宅に石けんと水を備えた手洗い用の設備があること。

## 栄養セクターの主要な課題

課題	解説	出典
非感染性疾患起因の死亡率	<ul style="list-style-type: none"> <li>非感染性疾患起因の死亡率が高いことから、非感染性疾患への対応は、最重要項目の一つとして挙げられている。</li> <li>たとえば、15歳から64歳の人口におけるNCDによる死亡は2014年に19.1%、2015年に21.2%、2016年に25.7%と上昇傾向にある。主な疾患は心疾患（高血圧、心臓発作など）、糖尿病、慢性呼吸疾患、及びがんである。死因のうち、特に多いものは糖尿病の21.8%（男性17.5%、女性34.2%）であり、特に女性に多い。</li> </ul>	National Health Information Bulletin 2016
栄養に特化したデータの欠如	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養については、非感染性疾患対策の一つとして位置づけられているものの、</li> <li>微量栄養素やエネルギー摂取量など、栄養に特化したデータが不在であり、実態がつかめない状況にある。</li> </ul>	

## その他の特徴

特徴	解説
	<ul style="list-style-type: none"> <li>クック諸島の最大の死因・疾病の原因は非感染性疾患であり、肥満や栄養は非感染性疾患のリスク要因との認識。</li> <li>特に、Pa Enua（離島）においては医療サービスへのアクセスが悪いことが課題。</li> <li>サイクロンや干ばつといった自然災害に影響されやすい国であり、農業への影響は大きい。そのため、災害時における健康（disaster health）や、農業を重要視している。</li> <li>農業の生産向上や食糧の質向上、水の改善など様々な政策、取組があるが、主要産業の観光業を見据えての戦略と思われる部分もあり。地元民が取り残されないような仕掛けの留意が必要か。</li> </ul>

## 既存の栄養関連データベース・情報源

課題	解説	出典
National Health Information Bulletin 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央に集められる、患者情報の電子データベースを主な情報源とした、保健省により毎年発行される保健・医療レポート。死亡率、出生率、青少年の出産率、平均寿命の分析をはじめ、感染性疾患、非感染性疾患の発症率、死亡要因などを各島やジェンダーといった観点より調査。栄養に特化したレポートは行われていない。</li> </ul>	保健省 HIU（健康情報ユニット）
Cooks Islands Global health Survey 2010 Report	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健省と教育省にて実施した、2010年に学校にて12-16歳の学生1,274名を対象とした健康度調査。</li> <li>飲酒や薬物使用、食習慣、衛生、精神衛生や運動量、保護因子、HIVに関する知識、喫煙、暴力と事故などの調査。</li> </ul>	保健省 2014
NLIS Country Profile	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養状態を、主にこども、女性、微量栄養素、食糧の安全保障などの指標を提示。ただし、クック諸島については情報が少ない。</li> </ul>	WHO
UNICEF/WHO/World Bank Group: Joint child malnutrition estimates	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの栄養状態について提示。ただし、クック諸島については情報が少ない。</li> </ul>	UNICEF/WHO/World Bank Group
CENSUS Report 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>国勢調査(5年毎に実施)。調査時にクック諸島内にいた一時的訪問者含む17,434名を対象とする、国家開発計画の重要方針・課題に基づいた人口統計、社会・経済状況の調査。</li> <li>健康・保健、及び栄養に係る指標としては、飲酒、喫煙、出産率、住居環境（水と衛生、台所）、ごみ処理、農漁業活動、交通面がある。</li> <li>栄養に特化したデータはない</li> </ul>	統計局
Cook Islands Vital Statistics Report 1999-2013	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口動態統計</li> <li>出生率、死亡率、乳幼児死亡率、死因に係る統計。栄養に係る統計としては、糖尿病を含む非感染性疾患にかかる死亡率が挙げられる。</li> <li>栄養に特化したデータはない</li> </ul>	財務・経済管理省
Food and Nutrition Security Profiles	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの死亡率やこども・女性の栄養状態（微量栄養素、低体重、完全母乳育児）、食糧のアクセスや摂取状況、水と衛生環境などの指標</li> <li>ただし、クック諸島の情報はほとんどない。</li> </ul>	FAO

## 国家栄養事業調整組織

# マルチセクター栄養改善 実施体制

組織/委員会	位置づけ	概要・状況
No data		クック諸島保健省における組織は、地域保健サービス、病院保健サービス、資金調達・計画の3つに分かれているが、栄養に特化した部署はない模様。地域保健サービスには、健康保護、ヘルスプロモーション、公衆衛生看護師、メンタルヘルスと地域保健などの責任者がいる。

## 栄養関連国家レベル事業の概要と実施体制

# 主なマルチセクター栄養事業

主要事業	事業概要	実施体制
Flexible Multi-Partner Mechanism (2016-2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アグリビジネスの加速と農業産業投資技術支援イニシアチブ</li> <li>• 新しい統合アプローチによって、家畜の生産性と農家の生計を向上させ、バリューチェーンの上流から下流まで雇用機会を促進させることを目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FAO/ 農業省</li> </ul>
Improving the capacity of Cook Islands domestic farmers and agro-processors to supply the domestic market with safe and nutritious food 2016- 2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食糧安全保障の確保を目的に、農家と加工業者が地元市向けに栄養価が高く安全な食品を提供できるように支援。農業生産の減少と、貿易不均衡を背景に、観光業とリンクさせた農業を支援。</li> <li>• 対象食糧に対し、生産、加工、販売に沿っての研修事業、マニュアル作成等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FAO/ 農業省</li> <li>• 実施者 : FCG ANZDEC (ニュージーランドコンサルタント)</li> <li>• Research and Extension Division of Department of Agriculture</li> </ul>
NMTPF 2013 – 2017 National medium term Priority Framework	<p>4つの重点項目に足して、下記の食の安全保障の観点からの取組が行われている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地場農業強化と輸入依存軽減のための戦略計画の強化：農業用水、気候変動による雨季の変化等の対応</li> <li>②農産物・海産物生産の促進：食糧確保と農村の生活向上。特に根菜、果物・野菜の生産向上による地場製品の食糧確保と都市部への販売</li> <li>③サプライチェーンの連携と効率の向上：世界基準に見合った食の安全</li> <li>④食品加工と付加価値の強化：食の安全と質の向上による、収入向上</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FAO</li> </ul>
Fish Aggregate Device (FADs) program	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 浅瀬の魚の採取について、費用対効果や持続可能を考慮して検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FAO.</li> </ul>

## その他、マルチセクター栄養事業例

# 主なマルチセクター栄養事業

主要事業	事業概要	実施体制
飲料水の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラロトンガ島における安全な飲料水の提供（～2020）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュージーランド、中国</li> </ul>
Pacific- EU Waster Management Programae	<ul style="list-style-type: none"> <li>大洋州の国々における、ごみ処理と汚染対策を通じて経済、社会、保健、環境を改善する。主なフォーカスは有害廃棄物（アスベスト、電子廃棄物、医療廃棄物）、固形廃棄物（リサイクル可能、災害廃棄物、有機廃棄物、粗大ごみ）及び廃水処理である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EU, 太平洋州の各国</li> </ul>
Procurement of Fishing Vessel to Improve Food Security & Fishing Skills for Pukpuka Islanders in Rarotonga - Feb 2017	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本政府による草の根人間の安全保障協力。</li> <li>漁船、ソーラーシステム、製氷機、水タンク、冷蔵庫、などをPue漁業組合へ供与。</li> </ul>	

主な事業：  
 栄養補助食品、微量栄養素、職場栄養改善、学校給食、病院給食、農業・フードバリューチェーン

栄養分野の主な民間連携事業・  
 ビジネスモデル

事業	事業概要/現況	実施体制
農業・観光業	<p>現時点で民間連携事業、ビジネスモデルに関する情報は無い。以下、参考。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労働人口比：公務員31%、民間65%。</li> <li>産業：貿易、レストラン、宿泊サービス従事者36.6%、 地域・社会・パーソナルサービス：34%、その他28.9%。</li> <li>女性は貿易・レストラン・宿泊サービスと金融・ビジネス関係に主に従事、男性は主に建設業、農業・漁業に従事している。</li> <li>ニュージーランドと自由連合（Free Association）を組んでいることもあり、クック諸島に住む4倍の人口が移民として流出、農業人口の減少及び高齢化にも影響を与えている。</li> <li>他方、基幹産業である観光業とアグリビジネスの融合や、観光客の消費も見据えた農業の生産性向上、栄養価の高い食糧の生産、販売を政府は模索している様子。</li> </ul>	